

2019年6月17日
IT・AI・情報学研究部会

2019年度第1回ITイベント研修及び勉強会実施報告

1 実施日

(1) ITイベント (INTEROP TOKYO 2019) 研修

2019年6月12日(水)～14日(金)

(2) 勉強会

2019年6月13日(木) 16:00～17:30

2 場所

幕張メッセ「勉強会はW3C (World Wide Web Consortium : 村上幹事所属会社の出展ブース) ブリーフィングスペース」

3 参加者

部会長以下会員3名及び非会員W3Cブース担当者2名

4 ITイベント (INTEROP TOKYO の状況)

(1) 出席したセミナー

- ・ Beyond the Internet (NTT 社長 : 澤田純氏)
- ・ ファーウエーのエンタープライズ向けネットワークソリューションと先進事例 (ファーウエー・ジャパン法人事業本部 : 高木圭一氏)
- ・ クラウドトランスフォーメーションにおける課題と解決方法について (パロアルネットワークス : 藤生昌也氏)
- ・ 準天頂衛星システム「みちびき」のサービス概要と利活用事例 (内閣府宇宙開発戦略推進事務局主査 : 高橋孝征氏)
- ・ 次世代エンドポイントセキュリティ (Sentinel Labs Inc. : Jared Phipps 氏)
- ・ AD,サーバー、DB,NW からクラウドまでの ID 管理にどう立ち向かうか ((株) フェス IT サービスマネジメント事業部 : 鈴木浩一氏)
- ・ インターネットから見たブロックチェーンの発展 (パネルディスカッション : 慶応大学 村井純教授ほか)
- ・ サイバーセキュリティの脅威と機会 (ファイア・アイ : クリストファー・ポーター氏)
- ・ Pervasive Intelligent Computing (ファーウエー : ジャン・タオ氏)
- ・ 近い将来の日本におけるハイブリッド攻撃 (サイバー攻撃、電子攻撃、物理的攻撃の組み合わせ) の大胆予想 (NETSCOUT Systems アドバイザー : 名和利男氏)

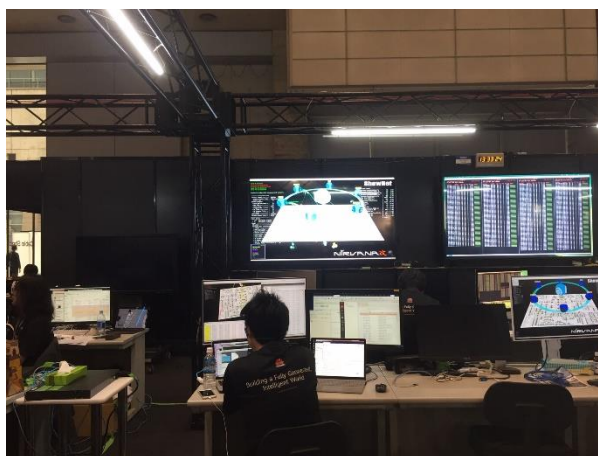
【IT・AI・情報学研究部会実施報告】

- ・ スマートデバイスプラットフォームの進化がもたらす組み込み AI 技術最前線（サンダーソフトジャパン：今井正徳氏）
- ・ CIO の挑戦：セキュアクラウドトランスフォーメーションとは（ゼットスケーラー社：ビル・ラップ氏）

（2）展示会及び勉強会の状況



認証システムの勉強会・説明（村上幹事）



最新の IT システムの展示の状況



イベント全般の状況



参加セミナーの状況

5 勉強会の概要

（1）モスクワ国立大学主催「情報安全保障シンポジウム」の状況（佐々木孝博）

2019年4月22日（月）～25日（木）の間、ドイツ・ミュンヘン郊外ガルミッシュ・パルテンキルヘンで行われた「モスクワ国立大学主催情報安全保障シンポジウム」に参加した。同シンポジウムにおいて、ロシアの情報セキュリティに対するスタンスというものがより

【IT・AI・情報学研究部会実施報告】

鮮明になった。特筆すべきは、ロシアはサイバー空間での脅威が核の脅威に直結していると認識しており、そのリスクを如何に低減するかを模索しているという状況であった。参加国は、ロシア、米国、英国、ドイツ、フランスなど12か国の学術関係者が参加した。

(2) YubiOn による認証について (村上恒夫)

最新の認証方式、FIDO2 の認証器の展示と FIDO2 認定サービスの紹介を実施した。Web サービスの標準を策定する W3C (WWW) とパスワードを無くした認証の標準化を広める FIDO アライアンスが取り組み FIDO2 を策定(WebAuthn+CTAP2)し、この度 W3C が勧告を出すことになった。これからの Web での認証標準は FIDO2 を無くしては語れなくなる。

YubiOn FIDO2®Server は3月に正式な認定を世界で20番目に受けたサーバである。今後は最新の高セキュリティーなサーバを安価に提供されることとなる。

(3) W3C ブースの説明 (芦村和幸慶応大学特任教授、FIDO アライアンス土屋敦裕氏)

昨年、慶応大学における W3C の会合に、FIDO アライアンスのメンバーが参加した。その際、FIDO についての紹介が行われた。その後 Web での認証標準として FIDO2 が認められた。今回のイベントでは、実際の FIDO2 を利用したサービスなどを W3C のブースで紹介し、講演を行い、FIDO2 の認知を広める活動を実施している。

以上